

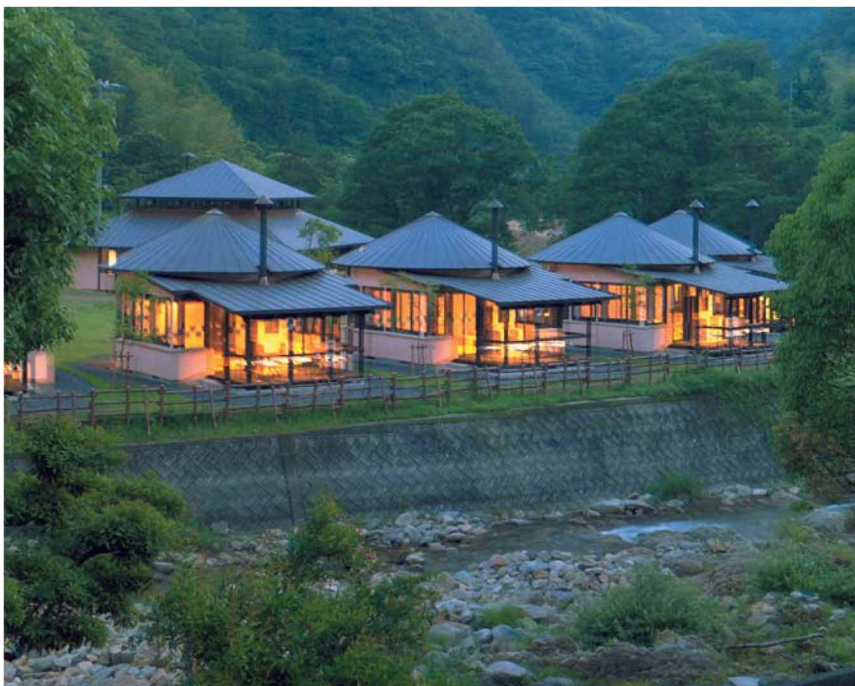
あやがわちよう

綾川町

柏原溪谷キャンプ村
「Tatutaの森」
幸せの原風景〜綾川の輝き〜



すいせんロード



柏原溪谷に広がるキャンプ場「Tatutaの森」。せせらぎに沿った棚田の跡地に作られていて、お風呂（温泉）がついたコテージには暖炉の設備も。春夏はファミリーやグループ、秋冬は二人で訪れるのもおすすめ。



林野庁「水源の森百選」、「さぬきの名水」に選ばれた柏原溪谷。川遊びや森遊びにふさわしい溪谷には、奇岩怪岩の風景が続きます。

「水源の森百選」に選ばれた柏原溪谷には、涼やかな風が吹いている。ため池を渡る風は、ふとなつかしい思い出を運ぶ。降り立った電車の駅では、風が花の香りを届けてくれた。ここは、幸せの風が吹くまち。綾川の川面に、幸せの風が吹き抜ける。心真つ直ぐな人々が、大地の恵みを育てている。心温かな人々が、伝統の技を伝えている。心やさしい人々が、ともにしっかりと支えあう。わたしのふるさと綾川。心寄せ合う人々のまち。綾川の川面に、幸せの明かりがゆれている。



千年余りの昔から雨乞い神事として踊り続けられた滝宮の念仏踊り

社と滝宮天満宮で行われ、全国に残る「念仏踊り」のルーツとされている。鉦と太鼓の鳴り響く中、陣羽織に羽織袴の踊り手が念仏を唱えながら大うちわを振って飛び跳ねるように踊る。昭和52（1977）年に重要無形民俗文化財に指定された。

滝宮の念仏踊り
自然と歴史が輝くまち〜偉大な足跡〜

菅原道真公が讃岐の国司として滝宮の地に赴任していた当時の仁和4（888）年に大旱魃に見舞われ、道真公が身を捧げて雨乞い祈願をしたところ、大雨が降り、農民は滝宮神社の前で道真公に感謝して喜んで踊ったのが起源とされている。

その後、浄土宗開祖の法然上人がこの地を訪れた際、この踊りを見て「大声で念仏を唱えながら踊りなさい」と教えて、現在の振り付けになったものと伝えられている。

現在でも毎年8月25日に滝宮神社と滝宮天満宮で行われ、全国に残る「念仏踊り」のルーツとされている。鉦と太鼓の鳴り響く中、陣羽織に羽織袴の踊り手が念仏を唱えながら大うちわを振って飛び跳ねるように踊る。昭和52（1977）年に重要無形民俗文化財に指定された。



うどん発祥の地

空海の甥にあたる智泉大徳（ちせんだいとく）は空海から「うどんの祖」を伝授され、ふるさと滝宮の地で両親をもてなしたのが、讃岐うどんの始まりといわれる。



主基斎田お田植祭

大正天皇即位の大礼、大嘗祭のための米を栽培する主基斎田にこの地が選ばれ、毎年6月に当時の斎田風景を再現するお田植祭りが行われる。

【問い合わせ先】

綾川町役場経済課 TEL087-876-5282

DATA

総人口 25,288人
世帯数 9,285世帯
面積 109.67km²
人口密度 230.58人/km²

